

展覧会“anima”のプレスワーク

広報ツールとカタログ制作におけるデザインング

Pressworks for the Exhibition “anima”

The Designing Works into Public Tools & Catalogue

デザイン学科・助手

Department of Design・Research Associate

柴田 知司 Satoshi SHIBATA



Logo Type & Color Bars, 2009./Exhibition “anima”

1 アニメーションプロジェクト“anima”

1.1 展覧会の概要

アニメーションプロジェクト“anima ーめぐり巡る、アニメーション”は名古屋学芸大学メディア造形学部の3学科(映像メディア、デザイン、ファッション造形)協働のプロジェクトで、展覧会としては2009年9月9日(水)から9月13日(日)の5日間、午前10時から午後6時(日曜日は午後5時)の時間帯において、名古屋市中区にある電気文化会館5F東西ギャラリーにて開催された。

1.2 プレスワーク制作の背景

本展覧会の実施に伴い、デザイン学科からの代表として実行委員会に属し、ポスター、DM(ダイレクトメール)、フライヤー、受付サインといった広報ツール全般のディレクション+制作をし、会場においては各ブースへの設営を行った(写真1,2,3)。また、イベント後には展覧会カタログの制作、編集を継続して担当している。

2 プレスワークのデザイン

2.1 デザインのコンセプト

プレスワークのメインビジュアルを考案するにあたり、展覧会のサブタイトルである「めぐり巡る、アニメーション」という言葉の意味合いを考慮し、下記の3点をデザインのコンセプトとして挙げた。

1. 循環性、永続性、無限性といった繰り返しの表現
2. アニメーション、映像を連想させるエレメントの使用
3. アナログ的モチーフとデジタル的モチーフの融合

アニメーションの形式を示唆する「繰り返しの表現」は、メインビジュアルに「円環」の形を取り入れる事で再現し、カラーリングは映像システムを評価するための基準信号である「カラーバー」から配色している。また、当初はデジタル的な要素だけで画面を構成していたが、アニメーションの持つアナログ的な側面を出すために、「めくる」ようなイメージでスリット入りの色紙を合成した。

2.2 各メディアでの展開

制作を開始するにあたり、広報ツールとして様々なメディアで展開する可能性がある事を考え、メインビジュアルの「円環」はどのような比率の画面であっても、レイアウトの収まりが良くなるよう、縦・横で2分割、4分割にトリミングしても配置する事ができる仕様を施した。また、どのパターンで切り分けてもメインビジュアルとしての役割を失わないように、各パーツごとのオブジェクトのバランスや間隔を留意し、全体・個体に統合性が出るようにしている。



写真1: Poster Board/Exhibition "anima" (電気文化会館1F入口)

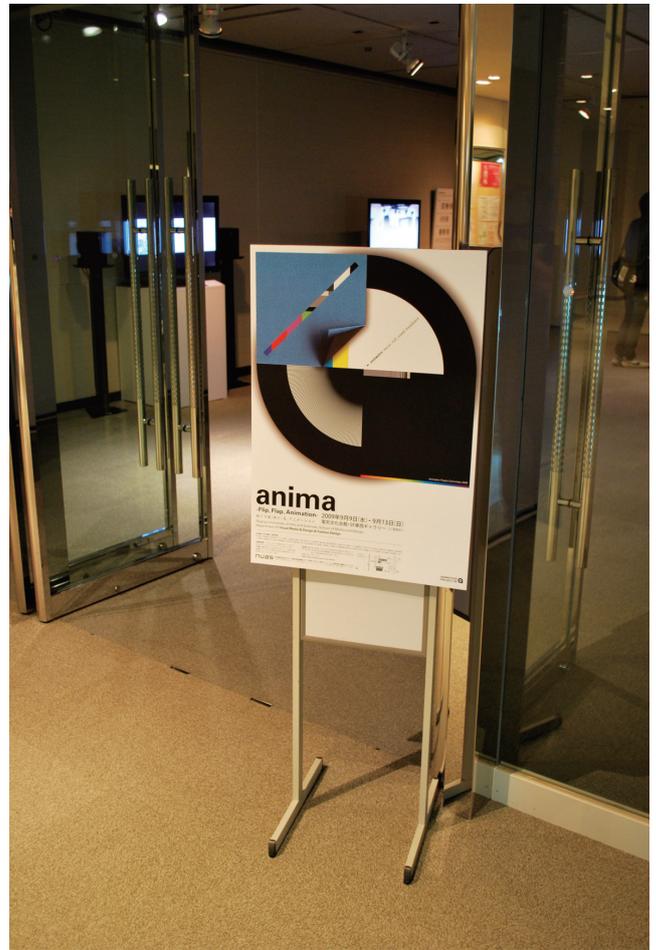
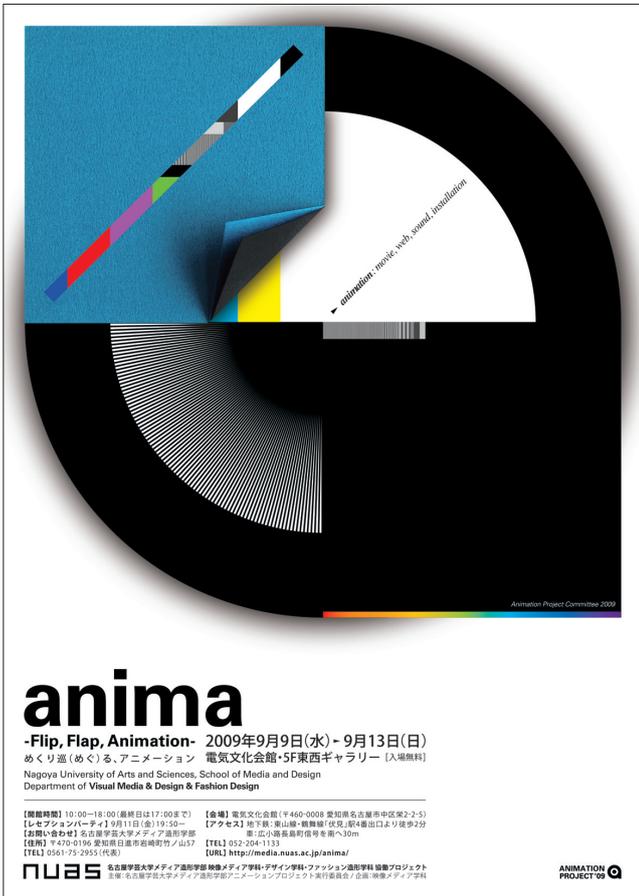


写真2: Poster/Exhibition "anima" (電気文化会館5F東西ギャラリー入口)



写真3: Reception Board & Tapestry/Exhibition "anima" (電気文化会館5Fロビー受付)



anima

-Flip, Flap, Animation- 2009年9月9日(水) - 9月13日(日)
めくり巡(めぐ)る、アニメーション

Nagoya University of Arts and Sciences, School of Media and Design
Department of Visual Media & Design & Fashion Design

【開催時間】10:00-18:00(最終日は17:00まで) 【会場】電気文化会館(〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-2-5)
【入場券】無料(小学生190円) 【アクセス】地下鉄:東山線「鳴鶴駅」徒歩4分(東山線鳴鶴駅より徒歩2分)
【お問い合わせ】名古屋学芸大学メディア造形学部 【TEL】052-204-1133
【住所】〒470-0196 愛知県名古屋市瑞穂区竹山57 【URL】http://media.nuas.ac.jp/anima/

NUAS 名古屋学芸大学メディア造形学部 映像メディア学科・デザイン学科・ファッション造形学科 協働プロジェクト
主催:名古屋学芸大学メディア造形学部アニメーションプロジェクト実行委員会 / 企画:映像メディア学科

ANIMATION PROJECT '09

Flyer_Design, 2009 / Size: W210×H297mm / Paper: Mr.B135kg / Print: gr@phic

anima -Flip, Flap, Animation- めくり巡(めぐ)る、アニメーション

「アニメーション」と聞くと、多くの方はテレビや映画で観られている「アニメ」を想像されることでしょう。「アニメーション」/ Animation は、もともとラテン語が「アニム」/ anima(靈魂)を語源としており、生命の無いものに、命を吹き込むことを意味します。静止した画像を連続して映し出すことによって、あたかも動いているかのように見せる「アニメーション」の原理もまた、演劇やマクラケに由来するとも言えます。このような「Animation」の原点も、上映作品だけでなく、アニメーションに変化する現実世界や空間作品など、様々な形式を通して多角的に探ります。名古屋学芸大学メディア造形学部教員と学生の協働作品を中心に、国内外で活躍するアニメーション作家を招いて行われる展覧会です。

When you hear the word "Animation" you might think of typical TV "Anime" programs. Animation is derived from the Latin word "anima" which refers to the vital life force in all living things. To animate something means to give that thing with life energy. Although Animation consists of still frames, it is the effect of all the frames together in rapid succession that gives the illusion of movement and therefore life to images. This exhibition will try to show the original meaning of animation through various techniques, such as 1800 cent. mechanical media like the zoetrope as well as new media installation formats which require multi-projections. Most of the works shown in this exhibition were made by teachers and students at Nagoya University of Arts and Sciences and we have also invited some renowned animation artists.

【出品者】(五十音順)・招待作家
荒川泰太、板橋清成、内田和裕ゼミ、江口詩帆、大内繁雄、河野宗一郎、鈴木吉人、弓前貴志、藤山謙也(建築美術家)、奥田なお子、橋本一人、土屋麗生、中上せぞ、尾花真十、天野佑希、伊藤真衣、岡本健志、小島博、高橋雄志(丸山誠)、吉原真一(山口智利、高野真美)、志村千景、吉原真一、宇田川千太郎、加藤千佳、堀越真美、森幸長、山本智武、串洋子、渡部真、Oo、*川口真美、*前川由緒、*吉田雅則 他

【展示・上映作品】
●第一部「静から動へーアニメーションの歴史と周辺文化」
アニメーションの歴史と周辺文化。アニメーションの歴史と周辺文化に関する視覚的玩具や、その周辺に位置する視覚文化に関する資料展示を行います。
●第二部「動から静へー作品上映」
クレイ(粘土)やペイント(人形)、2D、3DCGなどによるアニメーション作品の上映を行います。また、招待作家のOo氏、串川真美氏、吉田雅則氏の作品を上映します。
●第三部「アニメーションの新しい地平ーインタラクティブ、体験作品」
床面/多面プロジェクトや、観客参加型のインタラクティブアニメーションなど、ニューメディアとしてのアニメーション作品を展示します。

【招待作家トーク】9月11日(金)16:00(5F東西ギャラリー)
Oo氏(アニメーション作家) ▶ <http://oosy.com>
*串川真美氏(アーティスト)/映像ディレクター/九州大学学芸学部員 ▶ <http://akahirakayakawa.com>
*前川由緒氏(映像作家、名古屋学芸大学映像メディア学科卒業)

ワークショップで作り出したアニメーションを体験しよう! 9月12日(土)13:00-16:00(5F東西ギャラリー)
講師/招待作家(アニメーション作家、名古屋学芸大学映像メディア学科非常勤講師) ▶ <http://www.oosy.com>
対象/小学3年生以上。申し込み不要で、随時参加はいつでも可能です。

【特別上映・山村隆二作品】9月11日(金)18:00(5Fイベントホール)
【上映】2002年、「足をとった絆」(2005年)、Tig(黒花)【2006年】、7才の指輪【2007年】

【特別上映・山村隆二作品】9月11日(金)18:40(5Fイベントホール) ▶ <http://www.yamanaka-animation.jp/>
アニメーション作家、東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻教授、代表作「黒山」は、アニメーションを始めた世界の様々なアニメーション映画でグランプリを受賞し、第75回アカデミー賞にノミネートされた。

【開催時間】電気文化会館・5F東西ギャラリー
名古屋学芸大学メディア造形学部 映像メディア学科・デザイン学科・ファッション造形学科 協働プロジェクト
主催:名古屋学芸大学メディア造形学部アニメーションプロジェクト実行委員会 / 企画:映像メディア学科

【開催時間】10:00-18:00(最終日は17:00まで) 【会場】電気文化会館(〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-2-5)
【入場券】無料(小学生190円) 【アクセス】地下鉄:東山線「鳴鶴駅」徒歩4分(東山線鳴鶴駅より徒歩2分)
【お問い合わせ】名古屋学芸大学メディア造形学部 【TEL】052-204-1133
【住所】〒470-0196 愛知県名古屋市瑞穂区竹山57 【URL】http://media.nuas.ac.jp/anima/

名古屋学芸大学メディア造形学部 映像メディア学科・デザイン学科・ファッション造形学科 協働プロジェクト
主催:名古屋学芸大学メディア造形学部アニメーションプロジェクト実行委員会 / 企画:映像メディア学科

Flyer_Info, 2009 / Size: W210×H297mm / Paper: Mr.B135kg / Print: gr@phic

anima

-Flip, Flap, Animation-
めくり巡(めぐ)る、アニメーション

Nagoya University of Arts and Sciences, School of Media and Design
Department of Visual Media & Design & Fashion Design

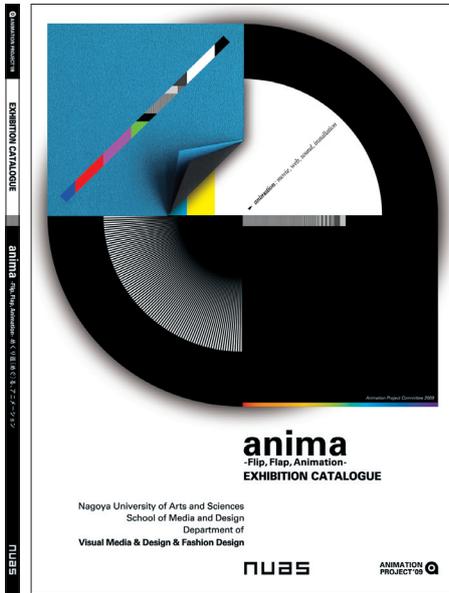
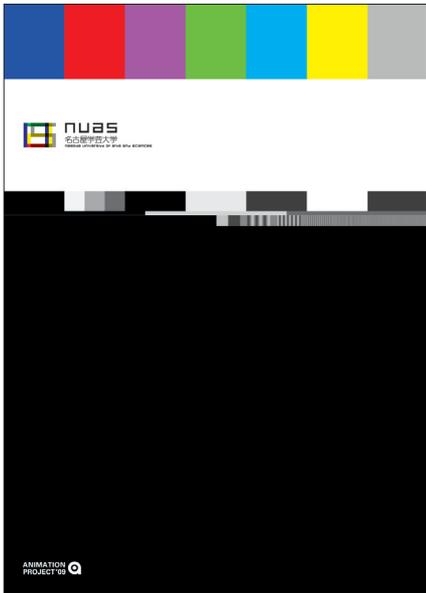
2009年9月9日(水) - 9月13日(日)
電気文化会館・5F東西ギャラリー [入場無料]

【開催時間】10:00-18:00 (最終日は17:00まで)
<http://media.nuas.ac.jp/anima>

名古屋学芸大学メディア造形学部 映像メディア学科・デザイン学科・ファッション造形学科 協働プロジェクト
主催:名古屋学芸大学メディア造形学部アニメーションプロジェクト実行委員会 / 企画:映像メディア学科

ANIMATION PROJECT '09

Tapestry, 2009 / Size: W800×H2400mm / Paper: Mat Paper / Print: DAIWA Co., Ltd.



【ご挨拶】

「anima」は、2010年10月17日（土）～10月24日（土）の期間、名古屋芸術大学（NUAS）にて開催される。本展覧会は、アニメーションの歴史や文化、そして最新の技術や表現手法を、多岐にわたる分野から紹介する。また、アニメーションの制作現場や、アニメーションの魅力を伝えるための様々な企画も行う。本展覧会を通じて、アニメーションの魅力を多くの人に伝え、アニメーションの発展に貢献したいと考えている。

目次 (Contents)

- 1 序言
- 2 開催概要
- 3 会場図
- 4 イベントスケジュール
- 5 イベント
- 6 特選上映・由村浩二作品
- 7 招待作家トーク&作品
- 8 ワークショップ
- 9 第一回 (The 1st Part)
- 10 歴史資料展
- 11 オンラインコーナー
- 12 サインボード&キャプション
- 13 ウェブサイト
- 14 おわりに

● 15 特選上映・由村浩二作品

● 16 招待作家トーク&作品

● 17 ワークショップ

● 18 第一回 (The 1st Part)

● 19 歴史資料展

● 20 オンラインコーナー

● 21 サインボード&キャプション

● 22 ウェブサイト

● 23 おわりに

【開催概要】 (Outline of Exhibition)

anima -Flip, Flap, Animation-
めぐり巡る、アニメーション

開催期間：2010年10月17日（土）～10月24日（土）
開催場所：名古屋芸術大学（NUAS）
〒466-8555 名古屋市中区栄3-1-1
TEL: 052-737-2111



【イベントスケジュール】 (Event Schedule)

10月17日（土）

- 10:00 開場
- 11:00 第一回「静から動へ—アニメーション前史と周辺視覚文化—」
- 13:00 第二回「動から生へ—作品上映—」
- 15:00 第三回「アニメーションの新しい地平—インタラクション、体感作品—」
- 17:00 閉場



【第一回 (The 1st Part)】

「静から動へ—アニメーション前史と周辺視覚文化—」

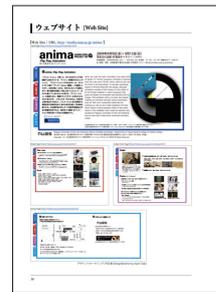
アニメーションの歴史や文化、そして最新の技術や表現手法を、多岐にわたる分野から紹介する。また、アニメーションの制作現場や、アニメーションの魅力を伝えるための様々な企画も行う。本展覧会を通じて、アニメーションの魅力を多くの人に伝え、アニメーションの発展に貢献したいと考えている。



【第二回 (The 2nd Part)】

「動から生へ—作品上映—」

アニメーションの歴史や文化、そして最新の技術や表現手法を、多岐にわたる分野から紹介する。また、アニメーションの制作現場や、アニメーションの魅力を伝えるための様々な企画も行う。本展覧会を通じて、アニメーションの魅力を多くの人に伝え、アニメーションの発展に貢献したいと考えている。



【おわりに】 (Conclusion)

「anima」は、2010年10月17日（土）～10月24日（土）の期間、名古屋芸術大学（NUAS）にて開催された。本展覧会は、アニメーションの歴史や文化、そして最新の技術や表現手法を、多岐にわたる分野から紹介する。また、アニメーションの制作現場や、アニメーションの魅力を伝えるための様々な企画も行う。本展覧会を通じて、アニメーションの魅力を多くの人に伝え、アニメーションの発展に貢献したいと考えている。

Exhibition Catalogue, 2010 / Size: W148×H210mm / Page: 56P / Paper: Mat Coted Paper / Print: KITO PRINTING Co., Ltd.

ANIMATION PROJECT '09

anima

-Flip, Flap, Animation-
めぐり巡る、アニメーション

● 第一部：「静から動へ—アニメーション前史と周辺視覚文化—」▶ 西ギャラリー
● 第二部：「動から生へ—作品上映—」▶ 西ギャラリー
● 第三部：「アニメーションの新しい地平—インタラクション、体感作品—」▶ 東ギャラリー

▶ animation: movie, web, sound, installation

NUAS

Reception Board, 2009 / Size: W3000×H700mm / Paper: Coted Paper / Print: Nagoya University of Arts and Sciences